

7/29
379

1000円超8都府県だけ

安日賃最

中央労働会連合会が28日、今年度の賃金改定率の目安を地域別の1000円超と8都府県(4.03%)とを提示し、業界の対応を促した。このうち1000円超の目安を提示した地域は、東海地方の4都府県(愛知県、岐阜県、静岡県、三重県)と、近畿地方の4都府県(大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)とで、計8都府県に拡大する取組を進めていく。地方労働組合連合会も同様の取組を進める意向を示している。

地域差 221円に拡大

平均41円増

厚生省の調査によると、賃金が有効した昨年10月から今年6月までの間に、東海地方の4都府県(愛知県、岐阜県、静岡県、三重県)と、近畿地方の4都府県(大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)とで、1000円超の目安を提示し、業界の対応を促した。このうち1000円超の目安を提示した地域は、東海地方の4都府県(愛知県、岐阜県、静岡県、三重県)と、近畿地方の4都府県(大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)とで、計8都府県に拡大する取組を進めていく。地方労働組合連合会も同様の取組を進める意向を示している。

↑賃上げの目安
↓記載の目安

東海地方の4都府県(愛知県、岐阜県、静岡県、三重県)と、近畿地方の4都府県(大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)とで、1000円超の目安を提示し、業界の対応を促した。このうち1000円超の目安を提示した地域は、東海地方の4都府県(愛知県、岐阜県、静岡県、三重県)と、近畿地方の4都府県(大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)とで、計8都府県に拡大する取組を進めていく。地方労働組合連合会も同様の取組を進める意向を示している。

